

ライオンズクラブ国際協会330-A地区 緊急対策・アラート・復興支援委員会

令和3年(2021年)2月13日23時8分頃に、福島県沖でマグニチュード(M)7.3(暫定値)の地震が発生しました。福島県新地町・その他地域にて最大震度6強～1を観測しました。

現在コロナ禍にのため、被災地での支援活動は困難であると考え、災害支援団体「震災がつなぐ全国ネットワーク(略称・震つな)」並び「認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(略称・JVOAD)」の松山氏と連絡を取り、現地の状況・支援物資の種類・数量並びに搬入場所・受け取り団体などの打ち合わせを行い、330-A地区として災害支援団体への後方支援を行いました。

支援物資搬入場所並び支援団体

①福島県新地町→特定非営利活動法人 レスキューアシスト

②宮城県山元町→一般社団法人 オープンジャパン

尚、宮城県にて「まん延防止等重点措置」発令に付き、支援物資を福島県新地町防災センターへ搬入致しました。

搬入日 2021年4月10日 搬入場所 福島県相馬郡新地町谷地小屋字中田55

- ①福島県新地町→特定非営利活動法人 レスキューアシスト
代表理事 中島武志氏・川島浩義氏・その他メンバー1名
- ②宮城県山元町→一般社団法人 オープンジャパン
副代表 肥田 浩氏

搬入者

緊急対策・アラート・復興支援委員会

副委員長 中原弘之L(東京福生LC)・委員 宮井晴史L(東京飛翔LC)・
宮井L関係者1名

埼玉県草加市、宮井L会社倉庫4/10 10時発→福島県新地町防災センター14時30着

支援物資搬入→打ち合わせ→出発16時→草加着20時

【福島県新地町】 新地町防災センターにて受け入れ
〒979-2702 福島県相馬郡新地町谷地小屋字中田55
エースクロス＝60個
土嚢袋＝全て
ブルーシート $3.6 \times 5.4 = 30$ 枚
屋根下葺防水シート＝30本

【宮城県山元町】新地町防災センターにて受け入れ
エースクロス＝30個
ブルーシート $10 \times 10 = 2$ 枚
ブルーシート $3.6 \times 5.4 = 30$ 枚
屋根下葺防水シート＝20本

支援物資搬入1



支援物資搬入2



支援物資搬入3 立ち合いメンバー



支援物資搬入4 打ち合わせ



支援物資搬入5 施工状況

ブルーシート施工状況



防水テープ施工状況



支援物資搬入6 支援団体

特定非営利活動法人 レスキューアシスト



**被災家屋への
対応事例**
～屋根の対処編～

特定非営利活動法人
災害救援レスキューアシスト

代表理事 **中島 武志**
(武ちゃんマン)

日本財団災害支援コーディネーター 被災士

〒167-0033 大田区大森南2丁目3番15号 パーデンスクラブビル 220号室
TEL 070-0541-4489 E-MAIL rescuestartjapan@gmail.com
URL <http://rescue-assist.net/> FB <https://www.facebook.com/rescueassist/>

特定非営利活動法人
災害救援レスキューアシスト

川島 浩義

〒167-0073 大田区大森南2丁目3番15号
パーデンスクラブビル 220号室
Tel 080-6547-7503
E-MAIL rescueassist@rescueassist.net
URL <http://rescueassist.net/> FB <https://www.facebook.com/rescueassist/>

一般社団法人 オープンジャパン



OPEN JAPAN 活動報告書 ～2021.3

OPEN JAPAN
オープンジャパン

代表理事 オープンジャパン
代表理事 **肥田 浩**
Hiroshi Hida

986-0813
宮城県仙台市青葉区北通り1丁目5-23
・090-7693-7039
・kumamotokuma@yahoo.co.jp
・www.openjapan.net

誰かの為に
動く仲間がいる。

ボランティア元年と言われた阪神淡路大震災。その時に生まれた神戸元町村の濱を越えネットワーク型の支援チーム「OPEN JAPAN 緊急支援プロジェクト」。3.11後、震災復興を山をベースに、自然災害が発生すると、出来る人ができる時に動いて又え。
2020年7月、熊本県南部など各地が被災したコロナ禍における自然災害。数日にわたるPCR検査の実施や、可能な限りのコロナ対策を固めた自治体がある支援活動。以前活動した被災地から呼びかけられる人、災害が起きる前に物資や支援金を集めたり、マンパワーをサポートとして応援してくださる多くの方々（仲間たち）に支えられ、誰かの為に動く力が心が集まり、お手伝いをする。それが OPEN JAPAN 緊急支援チームの活動の原点。みなさんに一人一人の力で支え合えるおかげさまで、ありがとうございます。
OPEN JAPAN 緊急支援チームメンバー 肥田浩一（ん）

最後に 当委員会・キャビネットの皆様並びにライオンズクラブ各位よりの協力により
コロナ禍の中、今までの災害支援とは異なった手法により、後方支援として災害支援
団体への協力を行うことが出来ました。御礼申し上げます。

被災地の支援団体様よりも暖かい御礼のお言葉を賜り、今後の連携についてもお願いしたい
との事でした。

災害は何時起こるのかは解りません。

特に私達が生活し、活動する首都圏では、災害による被害は想像できない被害になる事が想
定されます。今後もLCだけではなく広く連携を取ることが重要だと考えます。

今回の活動につきご協力頂きました皆様に御礼申し上げます。

ありがとうございました。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区 緊急対策・アラート・復興支援委員会